

# 平成24年度 笠松力検定 中級 問題用紙 制限時間60分

## 注意事項

- (ア) 検定問題は全50問で、1問から25問が4者択一方式、26問から50問が記述式です。解答用紙の記入にあたっては、1問から25問は番号を、26問から50問は問題で指示した語句を記入してください。
- (イ) 誤って記入した場合は、消しゴムで跡が残らないように消してください。
- (ウ) 受検中は、携帯電話等を使用することはできません。
- (エ) 受検中は、問題の内容についての質問は一切受け付けません。

## 笠松力検定委員会

問題 1 から 2 5 までを読み、正しいと思われるものを一つ選び、  
解答用紙に番号を記入してください。

1. 笠松町は岐阜県の南部に位置し、愛知県に接する細長い町です。その面積はおおよそ何平方キロメートルですか。
  - ① 6.36 平方キロメートル
  - ② 8.36 平方キロメートル
  - ③ 10.36 平方キロメートル
  - ④ 12.36 平方キロメートル
  
2. 笠松町は、木曾川に接している町です。町内で木曾川に接していない地域はどこですか。
  - ① 長池
  - ② 円城寺
  - ③ 門間
  - ④ 米野
  
3. 明治のはじめ、各地に義校(小学校の前身)ができました。笠松村、徳田村、田代村と連合して設置された義校はどれですか。
  - ① 育英義校
  - ② 藍氷義校
  - ③ 求信義校
  - ④ 敬恪義校
  
4. 明治 22 年(1889)に町制施行した笠松町は、その後、下羽栗村、松枝村と柳津村の一部と合併して今日に至っていますが、この 3 つの村との合併順を示したものの内、正しいのはどれですか。
  - ① 松枝村 → 下羽栗村 → 柳津村の一部
  - ② 下羽栗村 → 柳津村の一部 → 松枝村
  - ③ 柳津村の一部 → 下羽栗村 → 松枝村
  - ④ 柳津村の一部 → 松枝村 → 下羽栗村
  
5. 笠松町が運営している公共施設巡回町民バスは、「米野高瀬」から「下門間」まで、約何分で運行していますか。
  - ① 20 分
  - ② 30 分
  - ③ 50 分
  - ④ 70 分

6. 笠松町の町章は、カサと松葉模様で町名を斬新にえがき、円は親和協調を、円内の鋭角は町の躍進と栄光の道を力強く表現したものです。制定されたのは昭和何年ですか。

- ① 35年
- ② 40年
- ③ 45年
- ④ 50年



7. 昔、木曾川は広野川、鶉沼川、尾張川などと呼ばれていました。ある年の大洪水によって、現在の流路になりました。それはいつですか。

- ① 天文22年(1553)
- ② 天正14年(1586)
- ③ 文禄2年(1593)
- ④ 寛政10年(1798)

8. 門間の神明神社には、神の宿る木として樹齢170年以上といわれる町の天然記念物があります。この木は何ですか。

- ① イチョウ
- ② クロガネモチ
- ③ クス
- ④ マツ

9. 昭和34年(1959)9月、伊勢湾台風は東海地方に大きな被害を与えました。笠松町では、境川などが増水し被害をもたらしました。この時、床上浸水の被害を受けた世帯は何世帯ですか。

- ① 56世帯
- ② 230世帯
- ③ 533世帯
- ④ 818世帯

10. 笠松中学校の生徒が考案した菓子に、競走馬の蹄鉄を真似た「蹄鉄クッキー」があります。それには、赤色と緑色のドレンチェリーが何個飾ってありますか。

- ① 3個
- ② 4個
- ③ 5個
- ④ 6個

11. 江戸時代、問屋場を営んでいた下新町の高島家は、明治時代に公の仕事をしていました。その公の仕事とは何ですか。

- ① 警察署
- ② 消防署
- ③ 裁判所
- ④ 郵便局

12. 笠松みなと公園から、木曾川の下流に見られる主要地方道岐阜稲沢線の橋の名前は何ですか。

- ① 木曾川橋
- ② 木曾川大橋
- ③ 新木曾川橋
- ④ 新木曾川大橋



13. 木曾川笠松渡船場跡「石畳」は、岐阜県の史跡に指定されています。それはどこにありますか。

- ① 米野
- ② 円城寺
- ③ 港町
- ④ 長池

14. 江戸時代、笠松には郡代陣屋が置かれていました。人々は郡代を大名と同格と考え、「奴行列」を始めたと伝えられています。毎年4月に行われる笠松まつりでは、奴行列が町内を練り歩き2つの神社に奉納されます。その神社は、八幡神社ともうひとつはどの神社ですか。

- ① 日枝神社
- ② 白鬚神社
- ③ 産霊神社
- ④ 神明神社

15. 関ヶ原の戦いの前哨戦が笠松一帯でありました。木曾川を渡って押し寄せる池田輝政を中心とした東軍と、それを迎え撃つ岐阜城主織田秀信の西軍の戦いでした。この戦いは何と呼ばれていますか。

- ① 米野の戦い
- ② 中野の戦い
- ③ 江川の戦い
- ④ 円城寺の戦い

16. 美濃新四国八十八霊場の31番札所の禅宗の寺で、町指定文化財の「木造十一面観音立像」をはじめ多くの仏像があり、赤門寺とも呼ばれている寺はどれですか。

- ① 蓮國寺
- ② 瑞應寺
- ③ 光得寺
- ④ 法伝寺

17. 鎌倉時代になると京都と鎌倉を往来する人が増えました。南宿と北宿（現在の羽島市）の間を通り、及川にかけられた及橋を渡り、北及を経て黒田（現在の一宮市）に抜けた道を、何と呼んでいますか。

- ① 美濃路
- ② 伊勢道
- ③ 中山道
- ④ 鎌倉街道

18. 織田信長の家臣であった森蘭丸の祖父、父親の時代の森家は、笠松に所領地があったといわれています。それは現在のどこですか。

- ① 田代
- ② 長池
- ③ 北及
- ④ 門間

19. 無動寺に土岐塚があります。土岐塚は天文13年(1544)、織田信長の父信秀が美濃に攻め込んだ「無動寺の戦い」で、斎藤道三の策略によって殺害された武将の墓です。この武将は誰ですか。

- ① 土岐頼香
- ② 土岐頼芸
- ③ 土岐頼次
- ④ 土岐頼益

20. 江戸時代、歴代の尾張藩主は所領地の岐阜町を訪れる際、木曾川を渡り円城寺の野々垣家に立ち寄ったあと通った道は、何と呼ばれていますか。

- ① おなり道
- ② ぎふの道
- ③ ののがき道
- ④ おふじの道

21. 門間の慈眼寺には、1本のヒノキを真ん中から割って造られた町指定文化財の不動明王像と毘沙門天像があります。この2体の作者は誰ですか。
- ① 円空
  - ② 成慶
  - ③ 善政
  - ④ 正勝
22. 「笠松競馬」は戦時の中断をはさむものの、昭和40年の岐阜国体では馬術会場として脚光を浴びました。近年、名馬や名騎手を輩出しています。笠松競馬場が産声を上げたのは昭和何年ですか。
- ① 3年
  - ② 5年
  - ③ 7年
  - ④ 9年
23. 笠松競馬場の正門近くに、名馬オグリキャップ像があります。平成22年にオグリキャップのあるものを入れた記念碑が新設されましたが、そのあるものとは何ですか。
- ① たてがみ
  - ② 尻尾
  - ③ ひづめ
  - ④ 歯
24. 笠松町の主な収入は町税、地方交付税、国・県支出金などとなっています。平成23年度一般会計決算の歳入で、町税の割合は何パーセントですか。
- ① 30パーセント
  - ② 40パーセント
  - ③ 50パーセント
  - ④ 60パーセント
25. 笠松町の平成24年1月1日現在の世帯数は、約何世帯ですか。
- ① 7,200世帯
  - ② 8,200世帯
  - ③ 9,200世帯
  - ④ 10,200世帯

問題26から50までを読み、各設問の指示に従い解答用紙に正しいと思われる解答を記入してください。

26. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

笠松町内には、他市町の「飛び地」が2か所あります。それは、岐南町と市です。

27. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

笠松の歴史は水との闘いと無縁ではありませんでした。そのため「川」や「池」という字がつく地名（町内名）が多くあり、「川」がつく地名には宮川町、中川町、上柳川町、下柳川町と、下羽栗地域のがあります。

28. 次の文章を読み、に入る語句をカタカナで書きなさい。

笠松町で一番多く収穫される米の銘柄はです。

29. 次の文章を読み、に入る国名を書きなさい。

日本に住む外国人は、住所地の役所で住民登録をします。平成24年1月現在、笠松町に住む外国人の中で最も多い出身国はです。

30. 次の文章を読み、に入るひらがなを書きなさい。

平成21年8月15日生まれで、笠松町マスコットキャラクター「かさまるくん」の妹の名前はです。



31. 次の文章を読み、に入る語句をカタカナで書きなさい。

右の写真は、昭和10年に田代の藤掛で橋脚建設工事が行われた際、川底15メートルの深さから出土したの化石です。



32. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

木曾川河川敷のトンボ池は河跡湖で、かつて木曾川の本流がありました。そこには、堤防へ当たる水の勢いを弱める三角すいの形をしたと呼ばれる工作物が今も残されています。

33. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

江戸時代、木曾川と境川に挟まれた松枝地域では、集落の周りに堤防を造り、水害から人々の生活を守ってきました。この堤防で囲まれた地域を「松枝」と呼びます。

34. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

江戸時代から農閑期の副業として織られ、その後、笠松の産業の主役となった織物は、経たてまたは緯よこに縞しまをあらわしたものでと呼ばれています。

35. 次の文章を読み、に入る数字を書きなさい。

木曾川鉄橋が完成し、昭和年に、一宮市と笠松町を結ぶ鉄道が開通しました。その後、岐阜と名古屋を鉄道で行き来できるようになりました。

36. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

下本町の邸は、町屋風造りの商家で屋根神様を祀ってあります。平成18年に、国の登録有形文化財になりました。

37. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

昔の湊は、木曾川流域最大の物資の集散地として栄えました。荷揚げや積み込みする米・調味料・陶製品・石・薪炭・紙などの物資は、大八車を利用して運搬されました。

38. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

無動寺の寺にある梵鐘は、岐阜県の重要文化財に指定されています。文明7年(1475)に各務原市の手力雄神社の鐘として造られ、その後、愛知県の高田寺や万松寺に移り、明治9年(1876)に現在の寺に買い取られました。

39. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

岐阜県重要無形民俗文化財に指定されている「円城寺の」は、毎年8月22日、円城寺の秋葉神社で披露されます。保存会の指導者が、小学生たちに歌や踊りなどを伝え、後世に残す努力を続けています。

40. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

江戸幕府は、関東、西国、飛騨、そして笠松に郡代陣屋を置いていました。明治になると今の県町にあった「郡代笠松陣屋」は廃止され、その後、陣屋は笠松県庁や岐阜県庁の庁舎として使われました。

41. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

木曾川の流れを弱め、堤防の決壊を防ぐために、石を積み上げ岸から川の中に突き出した史跡が、長池や米野に残っています。これはある動物の特徴から「」と呼ばれています。

42. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

岐阜県工業試験場の本館として建設され、笠松町最初の「国の登録有形文化財」であるは、昭和 21 年、昭和天皇が岐阜県巡幸の際の宿泊所となりました。

43. 次の文章を読み、に入る語句をカタカナで書きなさい。

笠松町では、快適な住環境づくりのため、平成元年から下水道整備を進めています。道路に設置される下水道のマンホール蓋には、公募により決定したがデザインされています。

44. 次の文章を読み、に入る語句をひらがなで書きなさい。

中野のお堂に祀られている 6 体の地蔵様は、台座の記録から明治初期の廃仏毀釈で木曾川上流の越原村(現在の東白川村)から流されたものとわかっています。地元の人々は「川原から地蔵様」と呼んでいます。

45. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

笠松町では、住民の人口増加による活性化を図るために、町内に住宅を新築したり、新築住宅を購入した住民には「笠松町促進助成金」が交付されています。

46. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

江戸時代、長良川の鵜飼でとったアユにご飯を詰め込み、<sup>な</sup>熟れ鮓にして江戸の将軍に献上しました。笠松ではこの通り道を「街道」と呼んでいます。

47. 次の文章を読み、に入る語句をカタカナで書きなさい。

豊臣秀吉がキリスト教を禁止してから明治時代になるまで、キリスト教を信じることは許されませんでした。それでも密かにキリスト教を信仰する人々がいて、笠松小学校の中庭に立つ「灯籠」は、それを今に伝えています。

48. 次の文章を読み、に入る語句を書きなさい。

笠松みなと公園で開催される2つの大きなイベントは、8月15日の「笠松」と、秋の「リバーサイドカーニバル」です。

49. 次の文章を読み、に入る語句を書きなさい。

この写真は、奈良津堤の魂生大明神の近くにある「塚」です。



50. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

平成19年に、全国的にも珍しい「笠松町のまちづくり条例」を制定し、心を大切に作るまちづくりに取り組んでいます。